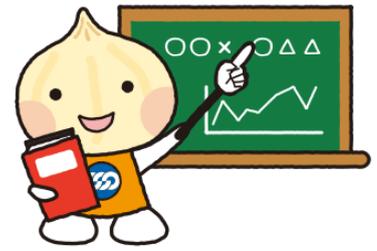


連合鳥取

西部地協青女フォーラム

学習会を開催



連合鳥取西部地協青女フォーラムは、7月10日(金)、ふれあいの里で27人の参加のもと、労働組合基本セミナー「労働組合の必要性」をテーマに「学習会」を開催しました。

門西慶和青女フォーラム委員長のあいさつで始まり、次に佐貫事務局長から講義を受けました。

講義内容は、まず参加者への質問コーナーから入り、

- ①組合加入の動機は？
- ②加入の際「説明会」はあった？
- ③オープンショップ制とユニオンショップ制の違いって？
- ④組合は必要だと思う？

等の質問に参加者から素直な意見が出されました。



次に、本題に入り、内容はわかりやすいものから難しいものまでありましたが、受講生は熱心に講義を聴き、特に「労働組合がなぜ政治活動をするのか」の時は、メモを取る受講生が多く見られました。

〈内容〉

- ・労働者の組織率
- ・労働者と使用者との関係
- ・労働組合の必要性
- ・就業規則と労働協約（協定）
- ・36〈サブロク〉協定
- ・労働組合がなぜ政治活動をするのか
- ・青年・女性組合員の役割について etc.

その後、グループ討議を行う予定でしたが、新型コロナウイルス拡大防止のために中止としました。



◆◆まとめ —佐貫西部地域協議会事務局長—◆◆

各単組で青年・女性組合員の学習する機会が少なく、組合の基本的な語句を含めて組合の必要性について学ぶことが必要だと強く感じました。

各単組の中で「若者の組合離れ」ということを聞くが、その要因が少しわかったような気がしました。

本日参加した組合員が中心となってそういう機会を作ることが必要であり、青女フォーラムとしても引き続き学習会を開催することとします。

※西部地協はFacebookを開設しています。

検索してみてね♪

